

日本体操学会 平成 20 年度 理事会 議事録

日 時：平成 20 年 9 月 6 日（土） 11:00～12:30

場 所： 京都学園大学悠心館 35 教室

出席者（22 名）：春山（国）、後藤、長谷川（聖）、春山（文）、金子、鈴木、栗野、大島、  
古川、山田、吉中、荒木、今村、岡村、國枝、菊池、砂田、住本、瀬戸口、  
千賀、長谷川（芳）、鞠子

欠席者（15 名）：三宅、本谷、石橋、伊吹、遠藤、大塚、川端、北川、坂下、関野、高岡、  
玉城、早野、南、湯澤

議 長：金子理事長

書 記：鞠子佳香

配布資料

- 資料 1 日本体操学会平成 19 年度事業報告
- 資料 2 日本体操学会平成 19 年度会計報告
- 資料 3 日本体操学会平成 20 年度会員動向
- 資料 4 日本体操学会平成 20 年度事業計画（案）
- 資料 5 日本体操学会平成 20 年度予算（案）
- 資料 6 第 9 回大会準備進捗状況企画（案）他
- 資料 7 第 5 回学術研究集会案内
- 資料 8 役員選出規定（案）
- 資料 9 J ステージのご案内
- 資料 10 いいからだの日カレンダー

権限の審査

議長・書記・議事録署名の選出次の会員が選出された。

議長：金子嘉徳、書記：鞠子佳香、議事録署名人：後藤洋子

<開会挨拶> 春山会長

<報告事項>

1. 平成 19 年度事業報告 資料 1  
金子理事長より報告があった。
2. 平成 19 年度会計報告 資料 2  
鈴木副理事長より報告があった。
3. 各委員会報告
  - 1) 財務委員会・鈴木委員長より、会計報告等のフォーマットを作成したとの報告があった。
  - 2) 将来構想委員会・古川委員長より、学術研究団体へ学術協力団体の申請を行い、認証されたとの報告があった。
  - 3) ジャーナル委員会・長谷川委員長より、平成 19 年度は投稿がなかったこと、また、オンラインジャーナルを取り扱う科学技術情報発信「流通総合システム（J・STAGE）」に日本体操学会の登録手続きをしているとの報告があった。
  - 4) 国際・国内交流委員会・春山（文）委員長より、国内交流として「いいからだの日」

体操カレンダーを作製したとの報告があった。

- 5) 広報委員会・大島委員長より、平成 19 年度入会案内の作成、学会ホームページのモニターチェックのお願い、今後の広報先の検討等を行ったとの報告があった。
  - 6) 普及委員会・後藤委員長より、平成 19 年度の活動はなかったが、「キッズプロジェクト」の普及活動について検討中であるとの報告があった。
4. 各プロジェクト報告
- 1) 「キッズプロジェクト」について大島常任理事より、「キッズハッピーエクササイズ」を制作し、本学会で発表するとの報告があった。
  - 2) 『体操の定義』検討プロジェクト』についてプロジェクト長の春山会長より、プロジェクトを立ち上げメンバー7名により学会として簡潔に説明できる『体操の定義』を検討中であるとの報告があった。
5. 平成 20 年度会員動向 資料 3
- 鈴木副理事長より平成 20 年 8 月 11 日現在の会員動向報告があり、学会大会参加をきっかけに入会する会員及び学生会員が多く、学生会員については卒業後も継続を促していただきたいとの報告があった。
6. 第 9 回大会準備状況 資料 6
- 春山（文）大会組織委員長より、会期、会場、テーマを以下のとおりとする開催要項（案）について報告があり、基調講演については「身体も心も動きも今よりもっと快適になるために（仮）」というテーマで講師を検討中であるとの報告があった。
- 会 期：平成 21 年 9 月 5 日（土）～6 日（日）
- 会 場：実践女子大学（東京都日野市大坂上キャンパス）
- テ ー マ：「日常生活で動けるからだを育てる」
7. 第 10 回大会
- 金子理事長より、開催は日本体育大学健志台キャンパスもしくは深沢キャンパスを予定していること、また第 10 回であるので記念大会とするか、企画として位置づけるかを今後検討していくとの報告があった。

#### <審議事項>

1. 平成 20 年度事業計画 資料 4
- 金子理事長より提案され、承認された。
2. 平成 20 年度予算案 資料 5
- 鈴木副理事長より提案され、承認された。
3. 各委員会事業計画案
- 1) 財務委員会・鈴木委員長より、平成 20 年度会計報告、第 10 回大会予算案の作成を行うことが提案され、承認された。
  - 2) 将来構想委員会・古川委員長より、役員選出規定の改定に関する提案および検討、実施を行うことが提案され、承認された。
  - 3) ジャーナル委員会・長谷川委員長より、平成 20 年度の登録は 1 件で、学会大会の発表者に投稿をお願いしたいこと、科学技術情報発信「流通総合システム（J・STAGE）」のホームページに日本体操学会としてエントリーを行うことが提案され、承認された。
  - 4) 国際・国内交流委員会・春山（文）委員長より、他領域、他学会への情報発信を行っていくことが提案され、承認された。
  - 5) 広報委員会・大島委員長より、入会案内の中刷りの変更と、広報活動方法の検討が提案され、承認された。
  - 6) 普及委員会・後藤委員長より、「キッズプロジェクト」の支援を考えていくことが提

案され、承認された。

4. プロジェクト事業計画案

- 1) 「キッズプロジェクト」について大島常任理事より、「キッズハッピーエクササイズ」の内容や活動についてさらに検討をしていくことが提案され、承認された。
- 2) 『『体操の定義』検討プロジェクト』についてプロジェクト長の春山会長より、メール会議等で検討し来年度の学会で報告できるようまとめていくことが提案され、承認された。

5. 第5回学術研究集会について 資料7

春山（文）副会長より、平成21年2月28日（土）13:30～14:30に実践女子大学（大坂上キャンパス）にて開催を予定し、『『体操の糸』を紐解く』というテーマで佐原龍誌（さはら りゅうし）多摩美術大学 教授に講師をお願いすること、対象は学会員だけでなく体操指導者にも呼びかけを行い会員外の受講者には参加費1,000円とすることを検討中であることが報告、提案され、承認された。会員や多領域の指導者に声をかけていくためには複数のプログラムの組み合わせや長めの時間設定なども検討してはどうかとの意見があり、今後の検討事項となった。

6. 役員選出方法の改定及び会則の改定について 資料8

将来構想委員会の古川常任理事、後藤副会長より、第5期役員選出方法について以下の提案があった。

- 1) 会則の改定について、役員の定数及び選出方法は常任理事定数を理事定数に含め、常任理事12名以内、理事25名以内とし、任期は3年とする。理事の互選によって常任理事を選出する。
- 2) 役員選出規程について、選挙管理委員会を立ち上げ、役員選出規定（案）に則り今年中に選挙を行い、来年2月の常任理事会にて承認、9月総会で決定する。

この提案に対して役員選出規定（案）中の「全国区」の表現方法の確認、現行とのメリット、選出人物のプロフィールの明確化について意見が出され審議後、改定後も随時検討していくことで承認された。

<閉会挨拶> 春山（文）副会長

議 長 金子 嘉徳

議事録署名人 後藤 洋子